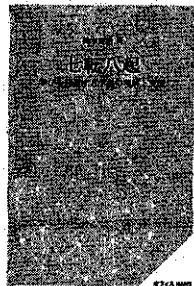


七転八起

鈴木賢治著

朝起きできないから徹夜してしまふ、卒業できないのに疑問なく就活を続行する—そんな学生の増加に人間の危機を感じた、元地方国立大教育学部長による直言の本です。支援の眼目を



「自分の困難を自分で考える」に置いています。「大学経営者が、政府のおかしな教育要求ばかりを『忖度』し、大学教育の切実な現状から目をそらしている」との鋭い警告も。保護者や学校教員にもお勧めです。

(オフィスHANS・1400円)

朝ごはんとは俳句365日

船団の会編

俳句グループ「船団の会」会員の1年間の朝ごはんの記録に俳句を添えた俳文集。10月



28日を見ると、奈良・水上博子さんの食パン、サラダ、ヨーグルト、ミルク紅茶という朝ごはんの紹介に、く草雲雀今朝の卵は荒みじんの句。11月11日は昨夜の豚汁を温めたという東京・諸星千綾さんと、く湯気食べるように豚汁霜華の句。4月26日はく昨日今日とろけ行く春みりん干しと京都・若林武史さん。朝の楽しさが詰まった一冊です。(人文書院・1800円)

地域の食をブランドにする!

金丸弘美著

多くの自治体、商工会などが地域の食をブランド化しようと大型イベントなどを行

い、地域の売り込みを



図っていません。本書はその効果的な方法として、地域の食材の調査とテキスト

化、言語化による、地元の食と人を連携させたワークショップの開催を提案しています。地域の食の歴史、文化、素材、産物の栽培法などを調査してまとめ、料理家などと連携し、食べ方の提案まで行うというものです。

(岩波書店・620円)

ブラック校則

荻上チキ・内田良編著

生まれつき黒髪ではない高校生のうち20%が黒く染めさせられる「毛髪指導」を受け



理不尽な苦しみの現実

荻上チキ
内田良

ていた、下着の色を指定する校則は1990年代以降増えている…。子どもの尊厳や健康を損なう理不尽な「ブラック校則」の実態を全国的に調査。弁護士やLGBTアクティビスト、学校の指導で子どもを亡くした「指導死」の遺族、保護者や教師らが、子どもを尊重し、校則を見直すために何が必要なのか提言します。

(東洋館出版社・1500円)

10/28 赤旗

ほんだな